

神奈川県微生物検査情報

第 320 号

令和元年 8 月 20 日発行
 病原体検出は令和元年 6 月分

神奈川県衛生研究所

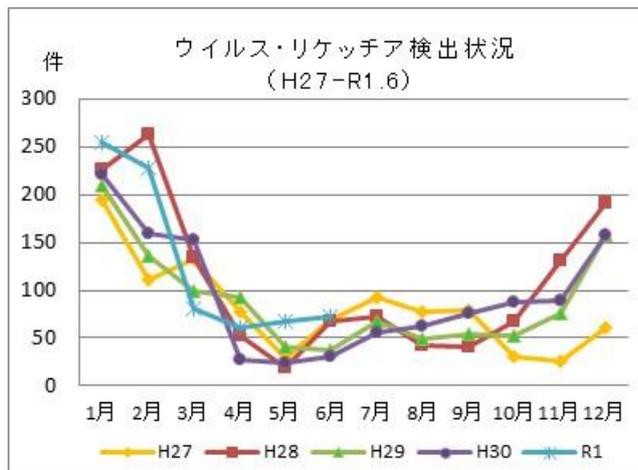
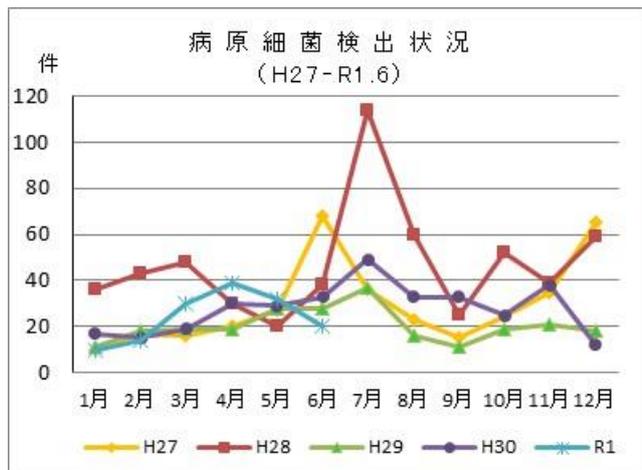
表 1 病原体検出状況(保健所等別)－令和元年 6 月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査											病原体定点				合計						
	平塚保健福祉事務所	秦野センター	平塚保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所	三崎センター	鎌倉保健福祉事務所	小田原保健福祉事務所	足柄上センター	小田原保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所 大和センター	横須賀市保健所	藤沢市保健所	茅ヶ崎市保健所	寒川町		計	小児科	インフルエンザ	眼科	基幹	その他の医療機関
病原細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)												1			1						1
	腸管病原性大腸菌(EPEC)										2					2						2
	カンピロバクター ジェジュニ	1		4												5						5
	黄色ブドウ球菌										1					1						1
	A群溶血レンサ球菌													1		1	8					9
	クラミジア トラコマティス												2			2						2
	計	1		4								5	1	1		12	8					20
ウイルス・リケッチア	コクサッキー A4													4	4	13						17
	コクサッキー A16															1						1
	コクサッキー B4											3				3						3
	E型肝炎			1												1						1
	ムンプス													1		1						1
	麻疹												3			3						3
	風疹									2	9					11						11
	アデノ 1															3						3
	アデノ 2															4						4
	アデノ 3															4						4
	アデノ 4															1						1
	アデノ 5															3						3
	アデノ(型未決定)												2			2	1					3
	ヒトヘルペス 7																			2		2
	ノロ												12			12	1					13
	サボ												2			2						2
	デング										1 (1)					1 (1)						1 (1)
計			1						2	10(1)		22	5		40(1)	31			2		73 (1)	
合計	1	1	4						2	10(1)	5	23	6		52(1)	39			2		93 (1)	

海外渡航者数は(内数)として記載

<検出状況>

6月の病原体検出数は合計93件、細菌は20件、ウイルス・リケッチアは73件であった。



- 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が8件、ウイルスが31件、基幹定点からウイルスが2件検出された。
- 保健所等別の病原体検出状況は表1のとおりである。

表2 病原細菌検出状況(臨床診断別)—令和元年 6 月

	感 染 症													（食 有 症 中 苦 情 含 む ） 様	（依 保 菌 類 者 検 査 ） 査	合 計
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	レ ジ オ ネ ラ 症	百 日 咳	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	淋 菌 感 染 症			
検査検体数				8	1	1	12	2						34	1619	1677
腸管出血性大腸菌(EHEC)				1												1
腸管病原性大腸菌(EPEC)														2		2
カンピロバクター ジェジュニ														5		5
黄色ブドウ球菌														1		1
A群溶血レンサ球菌							9									9
クラミジア トラコマトリス															2	2
計				1			9							8	2	20

- 腸管出血性大腸菌感染症届出関連に伴う検査で、8 検体中 1 検体から腸管出血性大腸菌(EHEC) O157(VT2)が検出された。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者 12 検体中 9 検体から A 群溶血レンサ球菌が検出された。血清型は、T1 が 2 検体、T4 が 3 検体、T25 が 1 検体、TB3264 が 3 検体であった。
- 食中毒様事例(有症苦情含む)では、34 検体中 7 検体から食中毒菌が検出された。その内訳は、腸管病原性大腸菌(EPEC) O145:H28, *eae*(+)が 1 検体、カンピロバクター ジェジュニが 5 検体、EPEC OUT:H7, *eae*(+)と黄色ブドウ球菌(エンテロトキシン A 産生)の同時検出が 1 検体であった。
- 依頼検査では、1619 検体中 2 検体からクラミジア トラコマトリスが検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別)—平成30年6月～令和元年6月

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成30年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	令和元年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	5	33	13	6			2	60	3					1	4
毒素原性大腸菌(ETEC)								2 (2)							
腸管病原性大腸菌(EPEC)				5		1		11				2		2	4
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)							1	2 (1)			1				1
その他の大腸菌 ※				1		1	1	4				1			1
サルモネラ O4群			1					9				1	1		2
サルモネラ O7群			2	1	2			6							
サルモネラ O8群						1		7							
サルモネラ O9群								2							
サルモネラ 群不明								1							
腸炎ビブリオ			4	3				7							
カンピロバクター ジェジュニ	5	1	4	7	6	7		49			1	11	1	5	18
カンピロバクター コリ				1	1	1		4		1	1				2
黄色ブドウ球菌			1			2	2	11	1		1	2	1	1	6
ウエルシュ菌			1			1	1	3			5	1	12		18
セレウス菌						1		1							
赤痢菌 (<i>S.boydii</i>)					1			1							
A群溶血レンサ球菌	20	9	6	6	12	18	4	123	6	9	19	20	17	9	80
マイコプラズマ ニューモニエ	1	4		1		2	1	11		1					1
レジオネラ ニューモフィラ			1	1	1	1		6		1					1
淋菌		1						1							
クラミジア トロコマトリス	2	1		1	2	2		12		2	2	1		2	7
合計	33	49	33	33	25	38	12	333 (3)	10	14	30	39	32	20	145

※: その他の大腸菌: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

海外渡航者数は(内数)として記載

表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断別)—令和元年6月

	感 染 症													食 中 毒 含 む 様 計	合 計			
	A 型 肝 炎	E 型 肝 炎	つ つ が 虫 病	デ ン グ 熱	急 性 脳 炎	麻 し ん	風 し ん	咽 頭 結 膜 熱	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	イン フル エン ザ 様			流 行 性 角 結 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	そ の 他
検査検体数		2		2		51	18	17	19	15	5	1			12		15	157
コクサッキー A6										14	3							17
コクサッキー A16										1								1
コクサッキー B4															3			3
E型肝炎		1																1
ムンプス												1						1
麻疹						3												3
風疹						2	9											11
アデノ 1									3									3
アデノ 2									4									4
アデノ 3									4									4
アデノ 4									1									1
アデノ 5									3									3
アデノ(型未決定)									1	2								3
ヒトヘルペス 7															2			2
ノロ										13								13
サポ										2								2
デング				1 (1)														1 (1)
計		1		1 (1)		5	9	16	17	15	3	1			5			73(1)

海外渡航者数は(内数)として記載

- E型肝炎疑い患者1例(2検体)について検査を実施したところ、E型肝炎ウイルスが検出された。
- デング熱疑い患者1例(2検体)について検査を実施したところ、デングウイルスが検出された。デングウイルスが検出された患者には海外渡航歴があった。
- 麻疹疑い患者18例(51検体)、風疹疑い患者6例(18検体)について検査を実施したところ、1例(3検体)から麻疹ウイルスが、4例(11検体)から風疹ウイルスが検出された。
- 咽頭結膜熱患者17例中16例からアデノウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス1型が3例、アデノウイルス2型が4例、アデノウイルス3型が4例、アデノウイルス4型が1例、アデノウイルス5型が3例、アデノウイルス型未決定が1例であった。
- 感染性胃腸炎患者19例中16例から下痢症の原因となるウイルスが検出された。その内訳は、ノロウイルスが13例、アデノウイルスが1例、サポウイルスが1例、アデノウイルスとサポウイルスの重複感染1例であった。
- 手足口病患者15例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA6型が14例、コクサッキーウイルスA16型が1例であった。
- ヘルパンギーナ患者5例中3例からコクサッキーウイルスA6型が検出された。
- 流行性耳下腺炎患者1例からムンプスウイルスが検出された。
- 無菌性髄膜炎患者4例12検体中3例5検体からウイルスが検出された。その内訳は、1例目は咽頭ぬぐい液、便及び血清からコクサッキーウイルスB4型、2例目は咽頭ぬぐい液からヒトヘルペスウイルス7、3例目は咽頭ぬぐい液からヒトヘルペスウイルス7であった。

表 5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別)—平成 30 年 6 月～令和元年 6 月

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成30年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	令和元年累計
インフルエンザ AH1pdm09	1				1	9	63	115	73	39					112
インフルエンザ AH3				3		4	33	219	135	84	23	12	1		255
インフルエンザ A(亜型不明)										3					3
インフルエンザ B				1	1			227	2	3	4	11	1		21
コクサッキー A2		1		3				4							
コクサッキー A4		12	8	1				21							
コクサッキー A5		7	4	2	1			15							
コクサッキー A6				3		1		4					2	17	19
コクサッキー A9			2					2							
コクサッキー A10				4	1			5							
コクサッキー A16	2	2	2	8	3	5	5	27	2	1				1	4
コクサッキー B4														3	3
コクサッキー B5						3		3							
エコー 3			3					3							
エコー 6			2					2							
エコー 30			3					3							
エンテロ A71	8	9	7					31							
A型肝炎	3	2	5	5	5 (1)	4	2	29 (1)	1				2		3
E型肝炎		2		2		1		5	1		2		1	1	5
ヒトパレコ 2			2					2							
ヒトパレコ 4					1			1							
ライノ		1			1	1		5							
ムンプス								1						1	1
麻疹									3	13	16	3	27	3	65
風疹		3	11	37	65	33	24	173	25	45	17	11	9	11	118
アデノ 1			1	1		1		3		1	1	1	3	3	9
アデノ 2	3	3	1	1			3	16	1	3	3	3	3	4	17
アデノ 3	9	11	6	4	1		1	38	2	1		1	2	4	10
アデノ 4	1							1						1	1
アデノ 5	1	1				1		5	1			1		3	5
アデノ 41		1					3	4							
アデノ 54						2		2							
アデノ 85								1							
アデノ(型未決定)							1	1	2			1	1	3	7
単純ヘルペス 1	1							3		1	1		1		3
E B			2					3							
サイトメガロ					1			1							
ヒトヘルペス 6					1			7	1						1
ヒトヘルペス 7			1			1	2	5						2	2
ロタ								4			2	3			5
ノロ	2	1	1	1		20	17	134	6	34	9	12	13	13	87
サボ							1	4			2	1		2	5
アストロ							1	1			1	1	1		3
Deng			1 (1)		2 (2)			5 (5)					1 (1)	1 (1)	2 (2)
オリエンチア ツツガムシ						6	1	7							
合計	31	56	62 (1)	76	87 (3)	89	157	1142 (6)	255	228	81	61	68 (1)	73 (1)	766 (2)

海外渡航者数は(内数)として記載

表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況—令和元年6月

検査検体数	病原細菌検出数および検査検体数													
	食 品						環 境							
	6月			1-6月累計			6月				1-6月累計			
	食中毒等	収去検査	その他	食中毒等	収去検査	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他
検査検体数	9	123	1	50	398	7	8		27	90	41	74	92	139
腸管出血性大腸菌(EHEC)														
その他の大腸菌 ※2														
サルモネラ O4群	1			1										
サルモネラ O7群														
サルモネラ O8群														
サルモネラ O9群														
腸炎ビブリオ														
カンピロバクター ジェジュニ	1			1										
カンピロバクター コリ														
カンピロバクター ジェジュニ/コリ														
黄色ブドウ球菌														
セレウス菌														
レジオネラ属菌														
レジオネラ ニューモフィラ 1群												11		
レジオネラ ニューモフィラ 2群												1		
レジオネラ ニューモフィラ 3群												4		
レジオネラ ニューモフィラ 4群														
レジオネラ ニューモフィラ 5群												2		
レジオネラ ニューモフィラ 6群												4		
レジオネラ ニューモフィラ 7群														
レジオネラ ニューモフィラ 8群													1	
レジオネラ ニューモフィラ 9群													1	
レジオネラ ニューモフィラ 10群														
レジオネラ ニューモフィラ 11群														
レジオネラ ニューモフィラ 12群													1	
レジオネラ ニューモフィラ 13群														
レジオネラ ゴルマニイ														
レジオネラ ミクダデイ														
レジオネラ デュモフィー														
検出菌計	2			2								25		

※: 河川水を含む。

※2: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAaggEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

プール水、エアコンの水等は、環境の「その他」に計上。

○ 食品 食中毒事例の参考食品(鶏レバー)から *S. Schwarzengrund* (O4:d:1,7) 及びカンピロバクター ジェジュニが検出された。